



地域密着型介護福祉施設 越路さくら

さくらだより

令和5年1月号 (第37号)

発行/地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら
越路さくら認知症対応型デイサービスセンター
越路さくら在宅介護支援センター
発行責任者/施設長 村田 治彦
黒部市荻生7120番2 ☎ (0765) 32-4811
ファックス (0765) 32-5612
発行日/令和5年1月1日
ホームページ <http://koshijisakura.e-294.net/>



地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら

令和5年 年頭挨拶

理事長 松原 宗一



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は緑寿会の各事業に格別のご愛顧、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、国内における新型コロナウイルスの流行は、残念ながら、いまだ収束の兆しが見えてまいりません。昨年の夏は、特に市中感染が拡大し、身近なところで感染が発生することは珍しくなくなりました。

当施設におきましても、職員本人や家庭内感染による出勤停止者が増加し、職員配置に影響を及ぼしたほか、デイ、ショートステイサービスの休業に伴い、ご家族の介護負担の増大という形でご迷惑をお掛けしました。ここに改めてお詫び申し上げますとともに、職員一同、今後さらに「うつさない、うつらない行動の徹底」に努めてまいります。

また、ホーム利用のご家族にとって、利用者様のお顔を見て、お話いただく時間は非常に貴重なものと存じます。現在、残念ながら窓越しでの面談となっておりますが、ご家族どうし、直接触れ合える機会が戻ることを切に願うばかりであります。

さて、緑寿会では現在、ホームページのリニューアル作業を通じて、介護の仕事において大切にしていることを職員自らが考え、介護をこれからの職業として考えている人たちに発信する取組みを進めています。

その際には

「敬」 人をうやまい謹んで事にあたること

「愛」 親子兄弟のようにすべて生あるものいつくしみ合うこと

「信」 うそ偽りなく誠実であること

は、「緑寿会の心」であり、職員倫理の拠りどころとしていることを市民の皆様にお伝えしていきたいと思っております。

また、サービス提供の基本方針である、利用者・ご家族の要望等を尊重した自立介護の実践や、迅速・親切・丁寧な対応で利用者・ご家族との信頼関係を構築するなどの取組みを通して、緑寿会の経営理念である「地域社会への貢献」、「人権尊重の介護」、「職員の能力と人格の向上」を具現化してまいります。

本年が日常生活を取り戻し、皆様にとりまして笑顔のあふれる年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



・・・ クリスマス ・・・



クリスマスツリーを飾り付け、クリスマスらしい雰囲気を楽しみました。



11月・12月・1月の誕生者

- | | | | |
|--------|--------------|-----|------------|
| 11月：紙屋 | シガさん（99歳） | 大勢待 | みな子さん（95歳） |
| 12月：齋田 | セツ子さん（90歳） | | |
| 1月：村井 | 雪子さん（85歳） | 富山 | 富子さん（90歳） |
| | 能澤 祐一さん（88歳） | 滑川 | みどりさん（88歳） |
| | 宮崎 みよさん（90歳） | 島野 | 朝子さん（85歳） |
| | 西本 由政さん（89歳） | | |



寄付・寄贈ありがとうございました
新村 ます子



越路さくら認知症対応型デイサービスセンター



紅葉ドライブ



今年も新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ紅葉ドライブへ行ってきました。今年は行動制限が出ていないため宇奈月は観光客の方々でいっぱいでした。人がいない場所などを選びきれいな紅葉を皆さんで楽しんできました。



運動会



今回も体調確認や換気に十分配慮しつつ運動会を実施しました。赤白のチームに分かれ協力して競技に挑みました。今年の競技はピンポン玉落としや、お玉を使った物送り、丸めた新聞紙の棒を使った輪送り、足を使って行う紙送りなど行いました。



干し柿作り



恒例の干し柿作りを行いました。ここ数年、毎年行っていることもあり皆さんとても手際よく皮むきなど行って下さいました。天日に干して出来上がった干し柿は大好評でした！



おやつ作り



9月は小麦粉、バター、卵、砂糖を使用した『しっとりクッキー作り』、10月は蒸したさつまいもやホットケーキミックスを使用した『しっとりスイートポテト作り』を行いました。どちらもしっとりとした食感で食べやすいと大好評でした。11月は蒸したじゃがいもを潰して丸めホットプレートで焼いた『芋餅』を作り、みたらしのタレをかけて頂きました。

越路さくら在宅介護支援センター

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。大雪と言われる冬が、ここ何年も続いていますね。この季節は外出や体を動かす機会が減ってしまい、身体機能低下を起こしやすい時期でもあります。そんな時こそ、介護サービスを上手に利用して、社会参加や身体機能の維持・回復を図ってみてはどうでしょうか。

初めて介護サービスを利用しようと思う方は、まず、相談する事からスタートです。

① 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に相談。

越路さくら在宅介護支援センターは、土日祝日も営業しています！

② 心身の状態を調べる。

要介護認定を受ける。(申請⇒調査)

③ 体の状態を知る。

心身の状態により、「介護が必要な度合い」が判定される。

自宅で暮らしながら介護サービスを利用する時は、ケアマネジャーが必要となります。ケアマネジャーと相談しながら、ご本人に合う介護サービスを選択して、利用開始につなげます。越路さくら在宅介護支援センターには、男女合わせて5名のケアマネジャーがおります。いつでも気軽にご相談ください。お待ちしております。



越路さくら在宅介護支援センター

電話 0765-32-5138

担当：長谷川、上田、能登、中瀬、高野

